# 第６学年算数科「くらべ方を考えよう　ー単位量あたりの大きさー」単元構想図（総時数　９時間）

本単元で必要とされる既習の基礎的・基本的な知識・技能及び考え方

(1) 知識・技能
　（５年）①　割合（異種の二つの量の割合で表される量）
　（６年）②　分数における約分や通分及び大きさの同じ分数
　　③　平均
　　④　公倍数
(2) 考え方
　　㋐　数値化して考えようとする。
　　㋑　線分図を用いて数量の関係をとらえようとしたり、線分図を用いて立式の根拠を説明したりしようとする。
　　㋒　公式を用いた立式や解決の利便性に気付き、進んで用いようとする。

【指導計画】

| 時 | 学習活動・内容 | 基礎的・基本的な知識・技能及び考え方の活用 | | 活用を促進するための手だて |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 「どっちがこんでいる？ゲーム１」を通して比べ方を工夫する。<br>A　単位量あたりの考え方<br>言　どれが最もこんでいるか四人組で話し合う。<br>言　黒板を用いて比べ方を説明する。 | ①<br>②<br>③<br>④<br>㋐ | どちらかを１とみて二つの量の割合で表す。<br>分数で表すことで、大きさを比べる。<br>同じ広さにして比べるために、公倍数の考えを用いて比べる。 | 既習の学習内容である平均や公倍数の活用場面を掲示する。 |
| **２<br>本<br>時** | **「どっちがこんでいる？ゲーム２」を通して、単位量あたりの考え方の有用性を実感する。<br>言　どれが最も混んでいるか四人組で話し合う。<br>言　黒板を用いて比べ方を説明する。** | **①<br>②<br>③<br>④<br>㋐<br>A** | **前時で学習した混み具合の比較方法から効率的な方法を選んで、四つの部屋の混み具合を比べる。** | **前時の話合いで出た比較方法を提示し、振返りの場面を設定する。<br>効率的な比較方法を考えさせるために、四つの異なる部屋の混み具合を比べる活動を設定する。** |
| 3 | 「燃費がいい車はどれ？クイズ」を通して燃費や取れ高など、単位量あたりの考え方の活用場面を広げる。<br>言　走る道のりと燃料との関係について線分図を用いて説明する。 | ㋑<br>A | 線分図を用いて、使ったガソリンと走った距離との関係をとらえる。<br>単位量（道のり又は燃料）を選んで二つの事象を比べる。 | 線分図のかき方を掲示したり、線分図のヒントカードを用いたりすることにより、線分図を進んで用いることができるようにする。 |
| 4 | 「速いのはどちら？クイズ」を通して、速さの意味を理解し、道のりや時間との関係を筋道立てて考える。<br>言　道のりと時間との関係を線分図に表して説明する。 | ㋑<br>A | 線分図を用いて、道のりと時間との関係をとらえる。<br>単位量（道のり又は時間）を選んで二つの事象を比べる。 | 線分図のかき方を掲示したり、線分図のヒントカードを用いたりすることにより、線分図を進んで用いることができるようにする。 |
| 5 | 「時速、分速、秒速」の表し方を知り、活用する。<br>B　速さの考え方（公式）<br>言　道のりと時間との関係を線分図に表して説明する。 | ㋑<br>A | 線分図を用いて、道のりと時間との関係をとらえる。<br>単位時間に進む距離で二つの事象を比べる。 | 分かりやすい図や説明をしている子どものノートを掲示することにより、自分により分かりやすい図をかくことができるようにする。 |
| 6 | 速さと時間、道のりの関係をことばの式でとらえ、道のりを求める計算に活用する。<br>言　道のりと時間との関係を線分図を用いて式の確かさを説明する。 | ㋑<br>B | 線分図を用いて、道のりと時間との関係をとらえる。<br>公式を使って立式して道のりを求め、二つの事象を比べる。 | 公式と図を関連付け、公式の利便性を意識付けることができるようにする。 |
| 7 | 速さと時間、道のりの関係をことばの式でとらえ、時間を求める計算に活用する。<br>言　道のりと時間との関係を線分図を用いて式の確かさを説明する。 | ㋑<br>B | 線分図を用いて、道のりと時間との関係をとらえる。<br>公式を使って立式して時間を求め、二つの事象を比べる。 | 公式の活用場面であっても、線分図で立式の根拠を説明させ、確実に問題解決が行えるようにさせる。 |
| 8<br>9 | 既習事項の復習をする。 | ＢＧ<br>ＥＩ<br>㋑㋒ | 線分図を用いて、道のりと時間との関係をとらえる。<br>公式を使って立式し、二つの事象を比べる。 | 単位量あたりの大きさにかかわる様々な適用場面を準備する。 |